

第 73 号

浦安とみおか川柳会

2 月例会結果

場 所：富岡公民館 3 階第一会議室

日 時：令和 4 年 2 月 8 (火)

13 時 00 分～16 時 00 分

講 師：佐藤青樹

出席者：塩見和昭、谷口勝、長谷川智、  
三浦みちえ、森山裕子、山岸順、  
山口しだれ、山口昇柳、大西旅人  
真田宣子、光永ひかる、佐藤公江

課題「息切れ」・互選

講評 \* 佐藤青樹

「9点」

老青の恋の坂道弾む息

和昭

広辞苑や大辞林などには「老青」の語はありませんが、「老生（老年の男性が自分をへりくだっている語）か、老成（年のわりにおとなびること、老熟、老練）」でしょうか。参考：老いらくの恋の坂道弾む息 などは、いかがでしょう。

「8点」

疲弊する医療現場へ第六波

みちえ

絵が見え、一読明快の句。

死神に追われて逃げる夢の中

勝

一読明快の句。

「7点」

息切らしつなぐタスキにドラマ見る

和昭

絵が見え、一読明快の句。

「6点」

病む地球CO2が苦しめる

裕子

一読明快の句ですが、「病む地球」と「苦しめる」がダブリ気味なのは。参考：CO2地球の喉を締めにくる などは、いかがでしょう。

「5点」

頼る手にヤングケアラー喘ぐ息

裕子

一読明快の句。

「4点」

支持率の低下総理の身が持たず

みちえ

一読明快の句。

また今年も三日坊主の日記帳

順

一読明快の句ですが、上六の「また今年も」でリズム感を悪化させてしまったか。参考：今年また三日坊主の日記帳 などは、いかがでしょう。

客帰る日常戻りひと呼吸

しだれ

句意は分かりませんが、リズム感を勘案し、参考：長尻の客が帰ってひと呼吸 などはいかがでしょう。

「3点」

幻想を追いかけ喘ぐ青春譜

和昭

一読明快の句。

「2点」

車検前廃車を決めて別れ告げ

みちえ

なぜ廃車を決めたのでしょうか。この句を読む人に分かる句としよう。参考：車検前免許返納して廃車 などは、いかがでしょう。

終電に駆け込み乗って酔い醒める

勝

「駆け込み」と「乗って」はダブリ気味なのは。参考：終電に駆け込み醒める酔い心地 などは、いかがでしょう。

ピアノ買い習つてみては息切れす 昇柳

中七は「習つてみたが」の方がよいのでは。参考…  
ピアノ買い習つてみたが息が切れ などは、いかがでしょう。

「1点」

足は萎え息は絶え絶え終列車 みちえ

句意は分かれますが、「リズム感」と「緊迫感」を  
勘案して、参考…息絶え絶えよろけ飛び込む終列  
車 などは、いかがでしょう。

寿命の長さに財布息が切れ 順

句意は分かれますが、八、八の十六音でしょうか。  
下八の「財布息が切れ」を「財布の息が切れ」とす  
ると八、九の十七音になります。参考…長生きの  
しすぎ財布の息が切れ などは、いかがでしょう。  
犬散歩リードにもたれて息をつく 智

中八では。参考…飼いだに引かれて老いの息が  
切れ などは、いかがでしょう。

生き疲れちよつと止まつてエナジ待つ しだれ

句意はわかりますが、下五の「エナジ」は、電子辞  
書によると「エナジー」が正しいようですね。でも、  
通称は「エナジ」でもよいのでしょうか。参考…生き  
疲れ生氣補充して再起 などは、いかがでしょう。  
一ページから息切れ続く哲学書 順  
一読明快のの句。参考…哲学書端から息が切れて  
くる などは、いかがでしょう。

マスクかけ自転車こいで愚痴が出る 智

絵が見え、一読明快の句。

「選外」

息切れも心は前を焦らない

この句は読む人の心象により取り方が違う句か。参  
考…来し方の苦難余生を厭わない などはいかが。  
サザンの桑田壺息攻めの息を吐き  
桑田さんの歌い方に詳しい方なら理解できる句で  
しょうか。

積み上げた本たちまち息切れす

中六では「本がたちまち」でよいのでは。参考…積  
ん読が枕にされて息が切れ などはいかが。

富士登山酸素呼吸器道連れに

一読明快の句。

バイキングすぐに息切れ元とれず

一読明快の句。

誕生日ろうそく消しで息上がり

一読明快の句ですが、中七の「で」でリズム感を悪  
くしたか。参考…誕生日ろうそく吹いて息が切れ  
袋とじに興奮したいまは昔

句意はわかりますが、六、六、六の破調気味の句。  
参考…袋綴じ息をつまらせ見た昔 はいかが。

大工道具八十路過ぎ息切れす

大工道具になぜ八十路の息が切れるのでしょうか。読  
む人に分かる句を作ろう。参考…改築へ八十路の大  
工息が切れ などはいかが。

【溜り場】現代川柳

現代川柳は伝統川柳と並行するものであるが、その嚆矢は戦後の河野春三(1902-84)や中村富二(1912-80)にあるらしい。河野の句は「水栓のもるる枯野を故郷とす」「流木の私語ゆるされず天に帰す」「向日葵ががくりとくと撃つピストル」など、中村の句には「パチンコ屋オヤ貴方にも影が無い」「妥協しろ、父の鯛を買って来い」「赤いピッコロを買ってやる肥った妻に」などがある。発想の飛躍と思いがけない不調和な言葉の組み合わせ、それらが醸す意外なイメージ、川柳とは思えぬ破調のリズムなどは自由律にも通ずるが、そうした破格のアプローチが予期しない、川柳らしい諧謔効果を作り出しているところもある。(旅人)

自由吟・塩見和昭選

「秀」

冬五輪北京の空は青く澄み  
愛犬とポカポカ散歩春はそこ  
夜勤明けシャインと名付くぶどう食む  
一杯の珈琲からの恋生まれ  
うっかりの背筋が凍るマスク無し

「客」

我が至福豆大福の三個程  
ニーチェ読む岩波文庫星ひとつ  
若き日のライバル今は終の友  
真に受けて飛ばされちゃった無礼講  
AIに見守り頼む電話詐欺

「人」

駆け落ちから生まれた僕の物語

「地」

二日酔しじみ汁には妻の愛

「天」

萎縮する脳へ努力の足りぬ日日

(自句) ワクチンの三連弾で迎え撃つ

ダイエット理由をつけてつまみ食い

断捨離は禅の心が試される

裕子

しだれ

旅人

順

みちえ

みちえ

旅人

勝

順

みちえ

順

勝

裕子

「はじめまして現代川柳」小池正博編著(書肆侃侃房 2020) 以下はその一部。

鑑賞コーナー

- ・ こんにちわと水の輪をわたされる(畑美樹) ・ 恋人よ私は月が沈む場所(同上)
- ・ 屋根裏に隠しておいた母の声(松永千秋) ・ 私を下りていく雪の日は静か(〃)
- ・ とんぼ死す目玉に百の空残し(野沢省悟) ・ 木は動かない動かない光を浴びる(〃)
- ・ 回線は繋がりました夜空です(なかはられいこ) ・ よろしくねこれが廃船これが楡(〃)
- ・ 月光をよじのぼろうとしますの(中西軒わ) ・ ネアンデルタール人の緑肥からプリン体(〃)
- ・ 殺されて帰れば若い父母がいた(筒井祥文) ・ どうしても椅子が足りないのだ諸君(〃)
- ・ 相似形だから荒縄で縛るよ(清水かおり) ・ 猫の死も多情なる日は美しい(〃)
- ・ 花冷えのどこまでが鳥どこからが顔(小池正博) ・ 黄昏のふくろうパセリほどの軽蔑(〃)
- ・ 窓がつつく奥に埋もれている死体(飯島章友) ・ 梅雨の冷えかふかかふかと咳をする(〃)
- ・ 中八がそんなに憎いかさあ殺せ(川合大祐) ・ だからこの句のメタファーに気付いてよ(〃)
- ・ いけにえにフリルがあつて恥ずかしい(暮田真名) ・ 未来はきつと火がついたプリクラ(〃)
- ・ キノコ抱きしめ金輪際のうつくしき(榎陽子) ・ 唐揚げをそつと世界と呼びなす(〃)
- ・ 輝いてどこにも使えない部品(竹井紫乙) ・ やわらかい鉄で自由を釣っている(〃)
- ・ 迷ったら海の匂いのする方へ(芳賀博子) ・ 手のひらのえさも手の平もあげる(〃)
- ・ レタス裂く窓いっぱいの異人船(加藤久子) ・ 銀河から戻る廊下が濡れている(〃)
- ・ 付箋を貼ると雲は雲でない(兵藤全部) ・ 生きるなど1/2の1/2(〃)
- ・ 機関車トーマスを正面から殴る(湊圭史) ・ ケータイをいくつも闇に浮かばせる(〃)
- ・ おとうとはとうとう夜の大きさに(八上桐子) ・ 雨が春しめじまいたけ耳の骨(〃)
- ・ ねえ、夢で、醤油借りたの俺ですか？(柳本々々) ・ あなたが見せてくれた宇宙はまだ無臭(〃)
- ・ 宅配の馬一頭をどこから食う(渡辺薩夫) ・ カラフルに国家が来ますピピピピッ(〃)
- ・ クチビルを離すと彼岸花の闇(丸山進) ・ 敬老の日にいただいた電気椅子(〃)
- ・ 旧姓で呼ぶと振り向くキタキツネ(浪越靖政) ・ 日没を待ってダミーと入れ替わる(〃)

課題「競う」・二人選 長谷川智選

「秀」

ライバルはいないパンダのひとり勝ち  
路挟みスーパー同士値の勝負  
箱根勝つ競うマラソン原見事  
駆け上がる厚底シューズの箱根路  
米中の覇権争いサドンレス

順 勝 昇柳 順 勝

「客」

負けたけど勝者認めて満ち足りる  
ゆつたりの王鵬競う堅実に  
投と打の鎬を削る二刀流  
極楽のチラシで競うケアハウス  
大国が世界制覇を競い合う

しだれ 昇柳 和昭 順 裕子

「人」

どん尻へ拍手喝采徒競走

みちえ

「地」

花便り早咲き競う温暖化

裕子

「天」

四回転世界相手にギアを上げ

和昭

(自句) 病院のハシゴで決めた入院日

バス旅行トイレの有無で参加決め  
難問に早押し対峙クイズ戦

課題「競う」・二人選 三浦みちえ選

「秀」

難問に早押し対峙クイズ選  
米中の覇権争いサドンレス  
駆け上がる厚底シューズの箱根路  
ノーサイド競った後の心地良さ  
駅伝の若さ輝く競い合い

智 勝 順 しだれ しだれ

「客」

投と打の鎬を削る二刀流  
大国が世界制覇を競い合う  
四回転世界相手にギアを上げ  
路挟みスーパー同士値の勝負  
狭き門闘志を燃やす受験生

和昭 裕子 和昭 勝 裕子

「人」

極楽のチラシで競うケアハウス

順

「地」

AIと差しの勝負で錬えられ

和昭

「天」

ライバルの竹馬の友に先逝かれ

勝

(自句) どん尻へ拍手喝采徒競走

明日からは一番目指す次男坊  
バーゲンへ先を競って蹴躓く

【掲示板】

1. 4月例会のお知らせ

- ・日時 : 令和4年4月12日(火)  
13時00分～16時00分
- ・場所 : 富岡公民館2階研修室
- ・課題「初心」 : 互選 3句
- ・課題「くらくら」: 二人選 3句
- ・自由吟 : 3句

2. 「犬吠」2月号掲載会員句(掲載順)

- ・雨戸開け輝く空へ感謝湧く(しだれ)
- ・幸せの秘訣は欲をそこそこに(勝)
- ・雨上がりアートのような落葉踏む(みちえ)
- ・救援の自慢しながらボランティア(昇柳)
- ・平凡に時の流れる砂時計(裕子)
- ・一年を総括すれば嗚呼コロナ(和昭)
- ・返納し今は自前の足頼り(順)